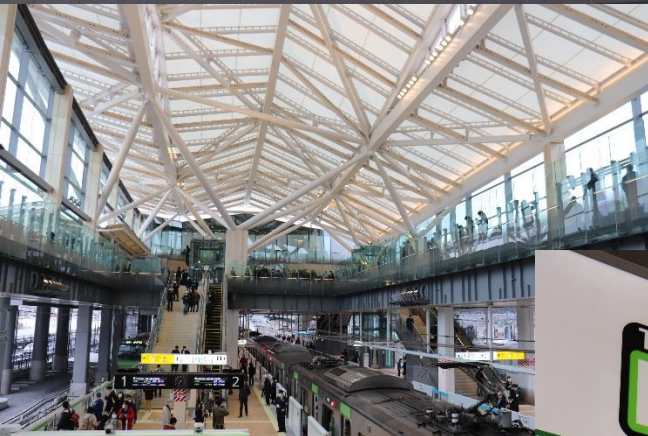


2020 新駅特集

SOTETSU 羽沢横浜国大駅
Hazawa yokohama-kokudai Sta.



こんにちは。高1の新井和樹です。今回は2020年に開業した新駅3駅について簡単にまとめてみました。

1.高輪ゲートウェイ駅

2020年3月14日のダイヤ改正とともに開業し山手線では1971年の西日暮里駅開業以来、約50年ぶりの新駅となりました。この駅の開業はビッグニュースとなったため開業当日は朝から当日の切符の印字を求める人で大混雑でした。この駅はもともとこの地にあった車両基地が、大崎の総合車両

センターに統合され

ることによって生まれたのでした。新駅の開業により高輪学園の最寄り駅も3つになり、とても便利になりました。立地としては田町から1.3キロ、品川からは0.9キロということで品川寄りに位置していることがわかります。第一京浜から補助線街路332号線を伸ばすことで駅として独立したような様相

です。駅舎は隈研吾氏の案により外装は折り紙を模し、内部には木のぬくもりを大切にしたいデザインになっています。



↑開業初日の駅舎内の様子



↑北側から見た駅舎と南側から見た駅舎↑

新しい技術の実証実験を行おうという考えがあるのか、改札機では一部のICカードタッチ面が傾いていて、バリアフリーに配慮した構造になっており障がい者の方も楽にタッチできるようになっていました。(現在は撤去されてしまった。)その他にも駅に設置されている店舗、Touch to go は無人コンビニ、スターバックスコーヒー内の奥にはSTATION WORK という時間貸しのシェアオフィスがおかれていたり駅構内ではロボットを巡回させるなど新しい取り組みが様々な場所でなされています。ホームのデザインには「木の温もり」を大切にしていることもあって通常あまり使われることのない木目調のタイルが採用されています。ホームに関して少し注意しなければならないのが山手線のホームと京浜東

北線の発着ホームがそれぞれ分かれていることです。目的地に急いでいるときには初めに駅の案内板で到着時間を見てからどちらに乗ると早いかわかるといいう手間が発生します。また、発車メロディーは山手線内回りが「スイートコール」、外回りが「キッズステーション」で、京浜東北線の北行（大宮方面）が「フラワーショップ」、南行（大船方面）が「恋の通勤電車」になっています。



↑ガラス張りの外観が特徴的
天井にくまなく設置されたカメラが
お客が買って行く商品を読み取る。



↑木のベンチはなんだか温かみがある。



↑ゲートウェイフェスタにて
実証実験中の出前ロボット「デリロ」



↑個室なのでプライベートな作業もできる

乗降者数は新型コロナウイルスの影響もあってか当初想定されていた人数よりも大幅に少なくなっていて、その要因としては街びらきが行われておらず駅周辺に商業施設が少ないなどのことがあげられます。7/14～9/6 までゲートウェイフェスタが開催されており、せっかくのいい機会なので私もゲートウェイフェスタを体感してみようと思いましたが

ました。しかし参加人数は少なく、あまりにぎわっていないように見受けられました。予約はネットで日時を指定して申し込む

仕組みになっていました。（当日受付もあり）

入場料などがかかるのかなと思っていましたが、入場だけなら無料のようです。申し込みができました。

フェスト内にはレストランなどが入店していたり、別途予約で最新のトレンドや未来を体感できるよう



↑右側の建物では最新技術を体感できる
催し物などを行っている。

になっていました。店舗は様々な地域の特産品を主に日本の文化にも触れられるようなコーナーがあったりなど珍しいものも多くとても楽しそうでしたが、日影が少なかったので、夏の暑い日に行った私は涼む場所がなく暑さにさいなまれました。JR 東日本は 2024 年に大規模な街びらきを行う予定で、やっと本当の開業といえるかもしれません。この品川開発プロジェクトは 1 街区から 4 街区に分けられ海外からの新たな玄関口での役割や国際的なビジネスの拠点など様々なニーズに応じて利用される計画となっています。それに加え、2027 年（予定）に開業するリニア中央新幹線の東京都の停車駅であり始発駅は東京ではなく品川となり、地方からもアクセスがしやすくなるので、ますます品川周辺は発展していくのではないかと感じています。私が在学している頃にはまだ完成しないので少し残念ですが自分の母校の周辺が新しい東京の副都心になると思うとうれしいです。長らく利用されてきていた、高輪と芝浦を結ぶ高輪架道橋下の道路はこの街びらきとともに姿を消すことになっています。



↑夏の暑い日だったが土曜日ということもあってか来場者が多かった。



↑ 高輪架道橋 ↑



↑ 駅周辺の再開発事業に向けて工事が進んでいる ↑

2. 羽沢横浜国大

SOTETSU 羽沢横浜国大駅
Hazawa yokohama-kokodai Sta.

横浜市神奈川区に位置し、もともと横浜羽沢貨物駅があったこの地にJR線と相鉄線との接続駅として2019年11月30日、新規開業しました。

それに伴い、新横浜と保土ヶ谷とを結んでいた神奈川中央交通のバス停も「羽沢貨物駅」から「羽沢横浜国大駅前」へと改められました。横浜環状2号沿い、羽沢ICから程近くに位置しています。この駅を境にしてJR線と相鉄線とが乗り入れています。駅名に「横浜国大」とついているのでさぞかし大学への近いのだと思うと、意外にも徒歩15分ほど離れており、そこまで近くありません。しかし、この駅の誕生によってJR線と一私鉄が乗り入れるという史上稀にみる直通運転が始まりました。

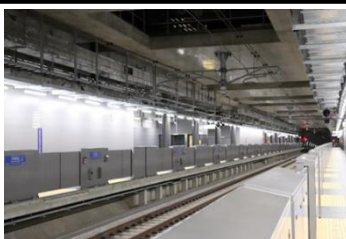


↑ 奇しくも2019年は相鉄線開業100周年



↑ 横浜国大方面に向かう跨線橋

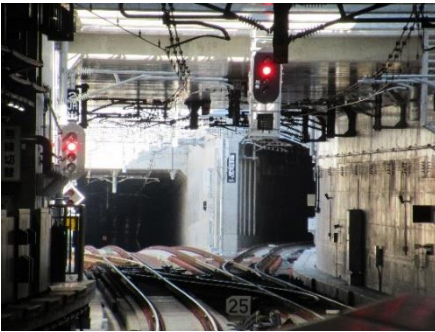
直通線によって、北は川越から西は海老名まで乗り換えることなく行くことができるようになり、埼玉南部や都内から神奈川西部へのアクセス向上につながりました。未だ列車の本数は1時間に2本ほど（日中）と少ないですが2022年に予定されている東急新横浜線への延伸によって東急線にも乗り入れるようになると、それも改善されるのではないかと思います。同様に今はあまり発展していない駅周辺も3社の乗り入れによって開発が進むだろうと思います。開業当日は記念硬券の発売もあり広い駅舎内を埋め尽くすほどの人出でしたがそれも2、3日で収まってがらがらになってしまったそうです。駅舎内は広いですが、売店はなく軽食を買える自販機のみしかありませんでした。もう少しうまく生かしたらいいと感じました。ホームはJRとの共同使用駅ではあるものの、やはり私鉄感が出ていました。また、相鉄の駅としては初めてホームドアが設置されましたがあまり慣れていないようで開業からしばらくは開閉動作に時間がかかっていました。



← 相鉄の駅としては2番目にホームドアが設置された。



↑ 開業初日の様子と3週間後の様子↑



↑ 右のトンネルがJR線方面
左のトンネルが東急線方面に連絡する

発車メロディーに関して JR 線直通方面はキッズステーションに対し、相鉄線方面はベルのみとなっています。武蔵小杉方面に目を向けるとレールの先にトンネルが2つあり、右側は JR 線につながり、左側は東急線方面につながっています。(東急新横浜線の開業までは未開通) また、駅名表を見たときに隣駅が JR 武蔵小杉駅であることに驚きました。武蔵小杉までは 16.6 キロあり 15 分もの時間を要すので、在来線の駅間としてはとても長いなと思いました。ここで運賃表を見てみると隣駅

武蔵小杉までは 310 円ですが、全く路線の違う鶴見駅までの運賃は 170 円というおもしろい現象がおきています。これは相鉄直通線の列車は通過してしましますが鶴見駅の方が距離的には武蔵小杉駅よりも近いために起きる現象でなんとも面白い現象だと思いました。相鉄線側の隣駅、西谷駅は今回の開業により各停のみの停車駅から特急停車駅へと格上げされ、さらにホームも 2 面 2 線から 2 面 4 線へと大躍進を遂げました。これからもさらに変化していく相鉄直通線の今後の展望が楽しみです。



↑ 必ずしも隣駅が最安運賃とも限らない



↑ 西谷駅からは新幹線の高架線が見える

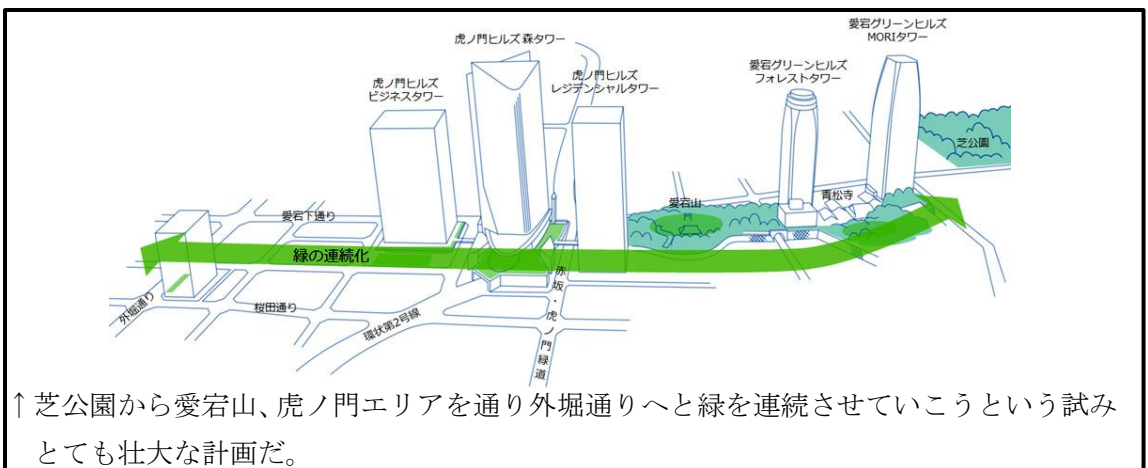
3. 虎ノ門ヒルズ



最後は、2020年6月6日と新規開業駅としては最も新しい虎ノ門ヒルズ駅です。日比谷線としては1964年の開業以来56年ぶり、東京メトロでは2008年の副都心線開業以来12年ぶりの新駅となりました。霞ヶ関から0.8キロ、神谷町から0.5キロと神谷町寄りに位置しています。駅ナンバリングH06

はこれまで霞ヶ関駅のナンバリングでしたが新しく虎ノ門ヒルズのナンバリングになりました。ホームには日比谷線としては秋葉原に次ぐ2駅目のホームドアが設置されています。発車ベルは1番線中目黒方面が「輝く都市」、2番線北千住方面が「夏雲」となっています。この駅と同時にオープンした虎ノ門ヒルズへは駅直結で地下通路からつながっています。また、この地下通路の終点は約400m離れている虎ノ門駅になっており、日比谷線と銀座線の乗換駅も1つ増えた形になりました。虎ノ門ヒルズは都心のビルながら緑化率が高く自然と調和したようなデザインは斬新でとても良いと思いました。

開業初日に行ったときビル内の商業施設はファミリーマート以外にオープンしていませんでしたがこれから再開発が進んでくるのだろうと予想しています。ファミリーマートは通常のコンビニとしての役割に加え、洋服を扱ったり、カレー屋を内设させるなど生活を充実させるために不可欠なものがすべてそろっているような印象でした。開業当日はまだ出入口が少なく新しい出入口を建設中で、中目黒方面からしかアクセスできず、地下通路へのアクセスが少々不便でした。今後は駅周辺の再開発事業でオフィスやホテル、バスターミナルがつくられ、やがて西麻布エリアや赤坂エリアと繋がって東京の新たな拠点となる計画もあり、ここで記述することが全てではありませんが、何かすごいプロジェクトが動いているなあと驚くと同時に周辺がどう変貌していくのか期待が膨らみました。



(https://www.mori.co.jp/projects/toranomonhills_area/img/ph_index10.jpg) より。



↑新たにオープンした「アーバン・ファミマ！」



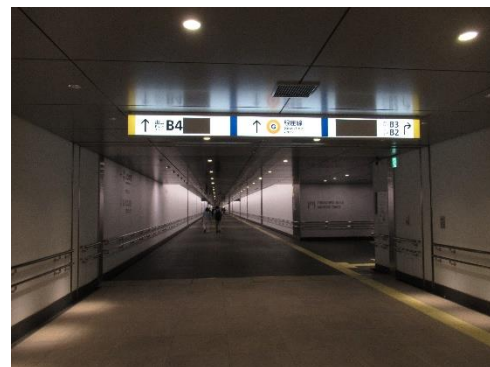
↑虎ノ門ヒルズ外観



↑出口が少なく地下通路からのアクセスが悪かった。



↑新しい出入口を建設中



↑日比谷線虎ノ門ヒルズ駅と銀座線虎ノ門駅は距離が離れているので地下通路にベンチなど腰掛ける場所が必要だと思った。

4. 参考文献

<https://shutten-watch.com/kantou/15141>

<https://www.jreast.co.jp/>

<https://www.yahoo.co.jp/>

<https://www.sotetsu.co.jp/>

<https://www.toranomonhills.com/about/>

<https://www.fashion-press.net/news/57090/2>

https://www.takanawa-gateway-fest.com/?utm_source=google&utm_medium=search&utm_campaign=eventopen&utm_content=event&gclid=EAiaIQobChMI1JWHm4Wa6wIVhjMqCh0RrQT0EAAYASAAEgLW2_D_BwE

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2007/07/news160.html>

<https://www.stationwork.jp/>

5. 感想

いずれの駅も暫定開業ということもあって開業初日は混雑していましたが、2、3日経つと閑散としてしまったようです。駅周辺の再開発事業によって4年後や5年後には駅を中心とする新しい商業拠点に生まれ変わると思うと未来がどうなっているのかとても楽しみです。新駅を訪れるなら再開発が行われておらず、比較的すいていてソーシャルディスタンスを保ちつつ散策できる今がチャンスだと思います。つたない文章ではありましたが最後までお読みいただきありがとうございました。

追記：表紙は高1岡崎君に作っていただきました。ありがとうございました。